

新たな「将来ビジョン」策定に向けた  
職員意識調査報告書

令和5年3月

蕨市



## 目次

第1章	はじめに.....	1
(1)	調査の目的.....	1
(2)	実施方法.....	1
(3)	有効回答数.....	1
(4)	報告書をご覧いただく際の注意事項.....	1
第2章	調査結果.....	2
(1)	【属性】.....	2
(2)	【分野ごとのまちづくりについて】.....	4
(3)	【将来に向けた施策の提案について】.....	16
(4)	【新たな「将来ビジョン」の策定に向けて】.....	21



## 第1章 はじめに

### (1) 調査の目的

この調査は令和6年度からスタートする新たな「将来ビジョン」の策定に当たり、日頃、市政運営を行っている職員の意識等を把握し、計画策定の基礎資料とすることを目的として実施しました。

### (2) 実施方法

この調査は、蕨市の正職員を対象として下記のとおり実施しました。

調査対象	正職員 623 名(ただし、特別職、産・育休等休職中の職員を除く)
調査方法	調査票の配布・回収 ※調査票は無記名で回答
調査期間	令和4年10月25日～令和4年11月22日

### (3) 有効回答数

本調査に対する有効回答数は次のとおりです。

有効回答数	591 票／623 票
回収率	94.9%

### (4) 報告書をご覧いただく際の注意事項

- ・ 図中の「n」(=number) は、設問に対する回答者数を示しています。
- ・ 構成比(%) は、設問に対する回答者数を母数として、小数点以下第2位を四捨五入して算出し、小数点以下第1位までを表示しています。このため、合計が必ずしも100%にならない場合があります。
- ・ 複数回答形式の設問については、設問に対する回答者数を母数として構成比(%)を算出しています。このため、合計が100%を超えることがあります。
- ・ 選択肢の文字数が多いものは、本文やグラフ・表中で省略した表現を用いています。

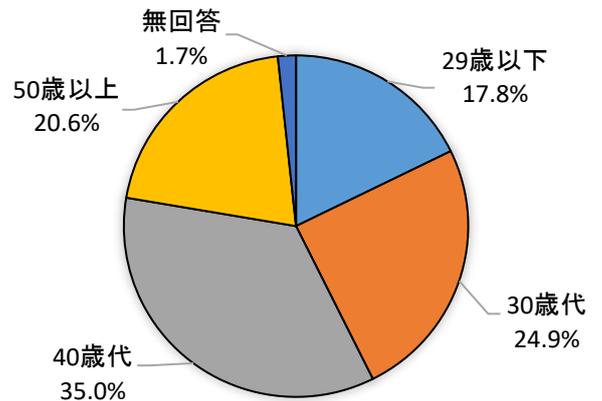
## 第2章 調査結果

### (1) 【属性】

問1. 最初に、あなた自身のことについてお聞きします。以下について、あてはまる番号を選んでください。(○印はいずれも1つ)

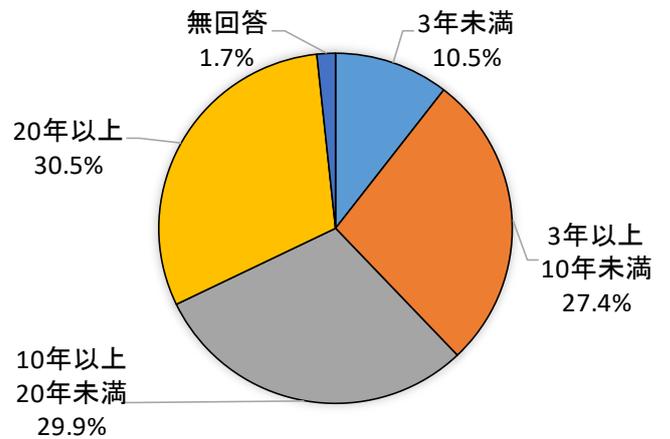
#### (1) 年齢

回答対象者(n=591)	集計値(件)	割合(%)	順位
29歳以下	105	17.8	4
30歳代	147	24.9	2
40歳代	207	35.0	1
50歳以上	122	20.6	3
無回答	10	1.7	-



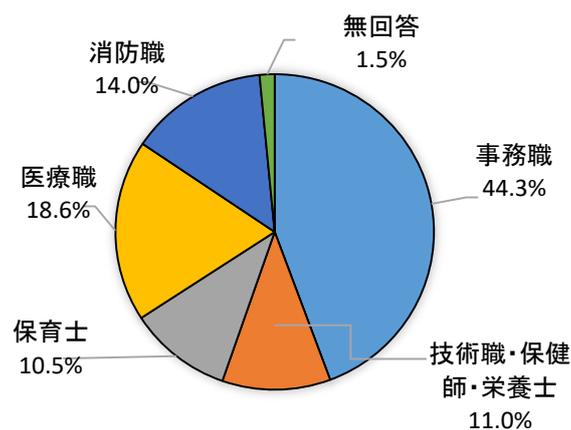
#### (2) 在職年数

回答対象者(n=591)	集計値(件)	割合(%)	順位
3年未満	62	10.5	4
3年以上10年未満	162	27.4	3
10年以上20年未満	177	29.9	2
20年以上	180	30.5	1
無回答	10	1.7	-



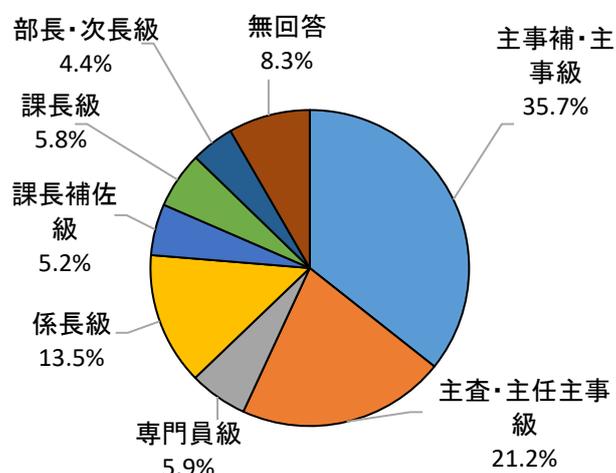
### (3) 職種

回答対象者(n=591)	集計値(件)	割合(%)	順位
事務職	262	44.3	1
技術職・保健師・栄養士	65	11.0	4
保育士	62	10.5	5
医療職	110	18.6	2
消防職	83	14.0	3
無回答	9	1.5	-



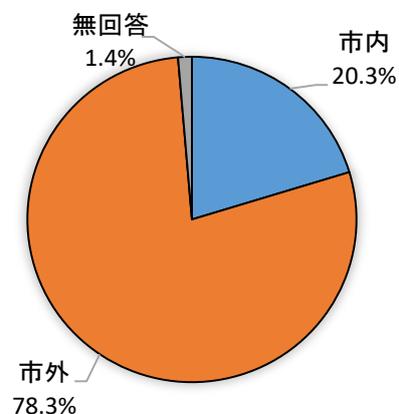
### (4) 職位

回答対象者(n=591)	集計値(件)	割合(%)	順位
主事補・主事級	211	35.7	1
主査・主任主事級	125	21.2	2
専門員級	35	5.9	4
係長級	80	13.5	3
課長補佐級	31	5.2	6
課長級	34	5.8	5
部長・次長級	26	4.4	7
無回答	49	8.3	-



### (5) 居住地

回答対象者(n=591)	集計値(件)	割合(%)	順位
市内	120	20.3	2
市外	463	78.3	1
無回答	8	1.4	-



## (2) 【分野ごとのまちづくりについて】

問2. これまでの蕨市のまちづくりや、将来のまちづくりに向けて、あなたの考えをおたずねします。

(問2-1)

あなたが、10年前の蕨市と比較して充実してきたと思うまちづくりの分野を下の1から15の中から5つ以内で選んでください。

※蕨市役所への在職歴が10年未満の方は、働き始めた時点との比較でお答えください

回答対象者(n=591)【5つまでの複数回答】	集計値(件)	割合(%)	順位
子育て支援が充実したまち	252	42.6	1
災害への備えや消防・救急体制が整備されたまち	180	30.5	2
交通・道路・上下水道などの都市基盤が整備されたまち	179	30.3	3
国籍や性別などの違いを認め尊重し合う多様性のあるまち	154	26.1	4
地域の歴史・文化・特産品などを活用した魅力あるまち	152	25.7	5
気軽に音楽や芸術・文化、スポーツに親しめるまち	141	23.9	6
子どもの教育環境が充実したまち	127	21.5	7
地域で買い物や食事を楽しめるにぎわいのあるまち	112	19.0	8
犯罪や交通事故が少ないまち	111	18.8	9
コミュニティが豊かで、地域課題に市民と行政が協働で取り組むまち	81	13.7	10
医療や福祉がゆきとどいたまち	75	12.7	11
デジタル技術を活用した行政サービスに対応したまち	47	8.0	12
誰もが生きがいを持って元気に活躍できるまち	21	3.6	13
再生可能エネルギーの活用など脱炭素に向けた環境に優しいまち	9	1.5	14
その他	10	1.7	-
無回答	38	6.4	-



「子育て支援が充実したまち」が42.6%で最も多く、次いで「災害への備えや消防・救急体制が整備されたまち」(30.5%)、「交通・道路・上下水道などの都市基盤が整備されたまち」(30.3%)が3割程度となっています。

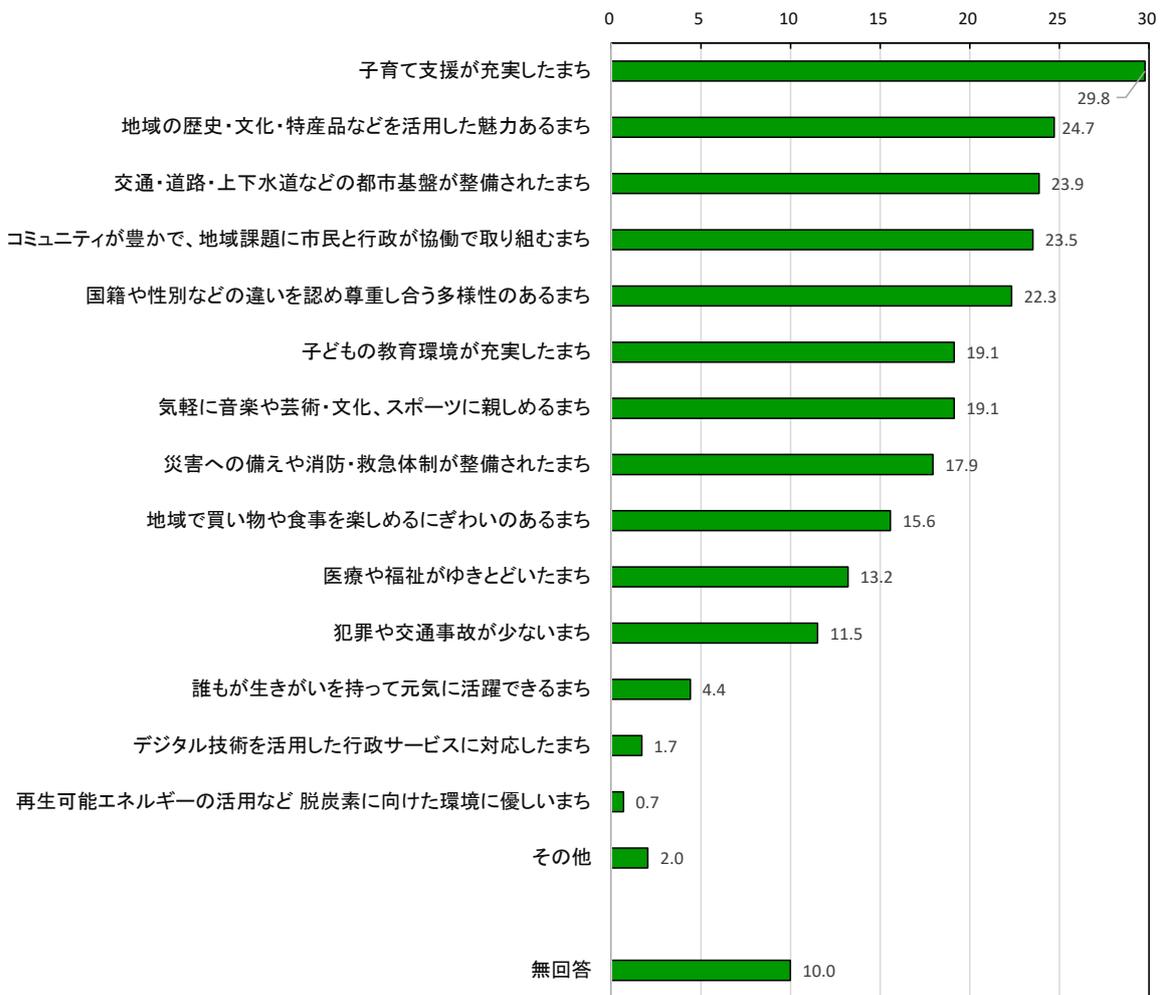
(問2-2)

あなたが、現在の蕨市の強みだと思うまちづくりの分野を下の1から15の中から5つ以内で選んでください。

回答対象者(n=591)【5つまでの複数回答】	集計値(件)	割合(%)	順位
子育て支援が充実したまち	176	29.8	1
地域の歴史・文化・特産品などを活用した魅力あるまち	146	24.7	2
交通・道路・上下水道などの都市基盤が整備されたまち	141	23.9	3
コミュニティが豊かで、地域課題に市民と行政が協働で取り組むまち	139	23.5	4
国籍や性別などの違いを認め尊重し合う多様性のあるまち	132	22.3	5
子どもの教育環境が充実したまち	113	19.1	6
気軽に音楽や芸術・文化、スポーツに親しめるまち	113	19.1	6
災害への備えや消防・救急体制が整備されたまち	106	17.9	8
地域で買い物や食事を楽しめるにぎわいのあるまち	92	15.6	9
医療や福祉がゆきとどいたまち	78	13.2	10
犯罪や交通事故が少ないまち	68	11.5	11
誰もが生きがいを持って元気に活躍できるまち	26	4.4	12
デジタル技術を活用した行政サービスに対応したまち	10	1.7	13
再生可能エネルギーの活用など脱炭素に向けた環境に優しいまち	4	0.7	14
その他	12	2.0	-
無回答	59	10.0	-

n=591【複数回答】

(%)

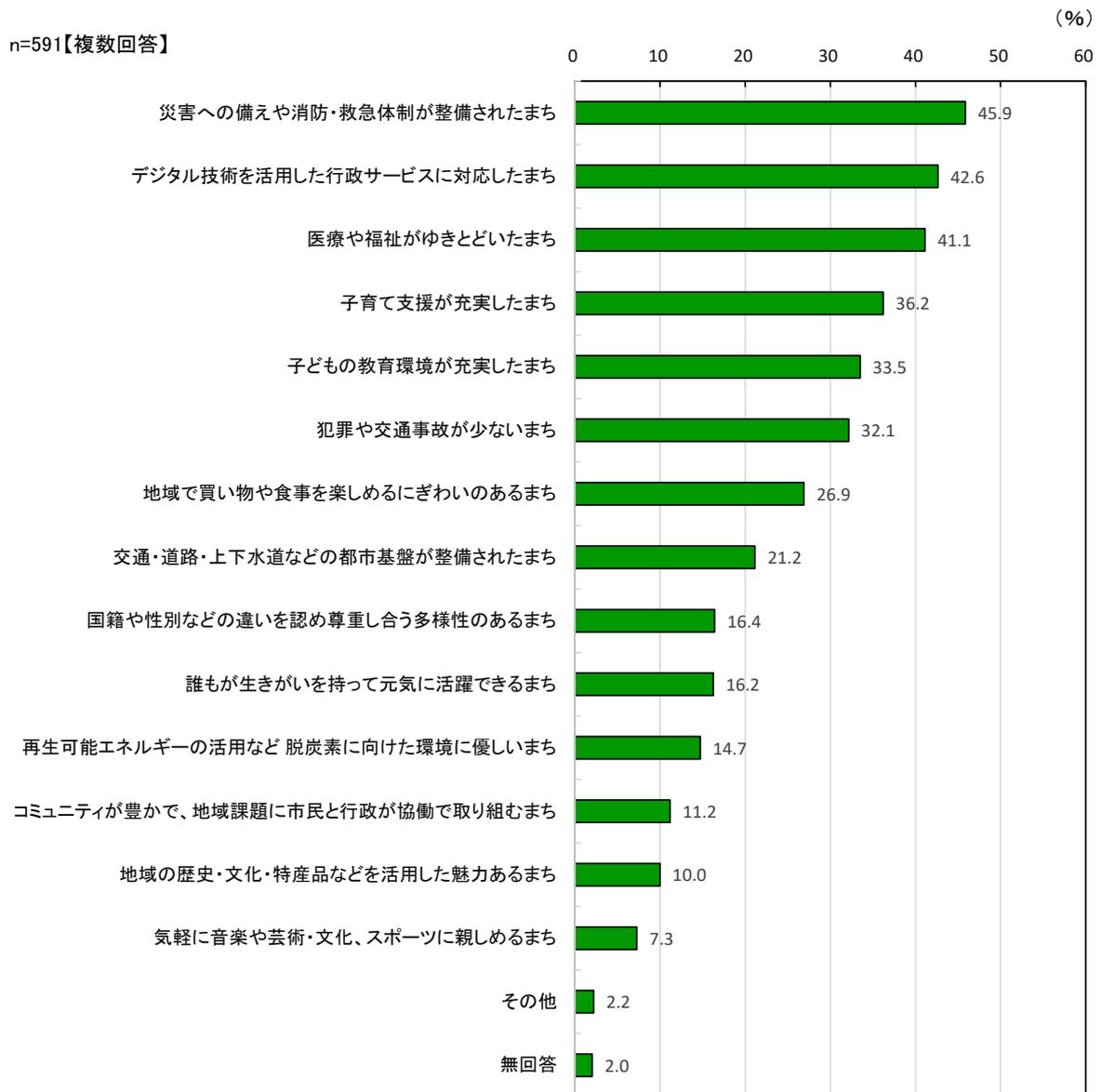


「子育て支援が充実したまち」が29.8%で最も多くなっています。次いで「地域の歴史・文化・特産品などを活用した魅力あるまち」(24.7%)、「交通・道路・上下水道などの都市基盤が整備されたまち」(23.9%)、「コミュニティが豊かで、地域課題に市民と行政が協働で取り組むまち」(23.5%)、「国籍や性別などの違いを認め尊重し合う多様性のあるまち」(22.3%)となっています。

(問2-3)

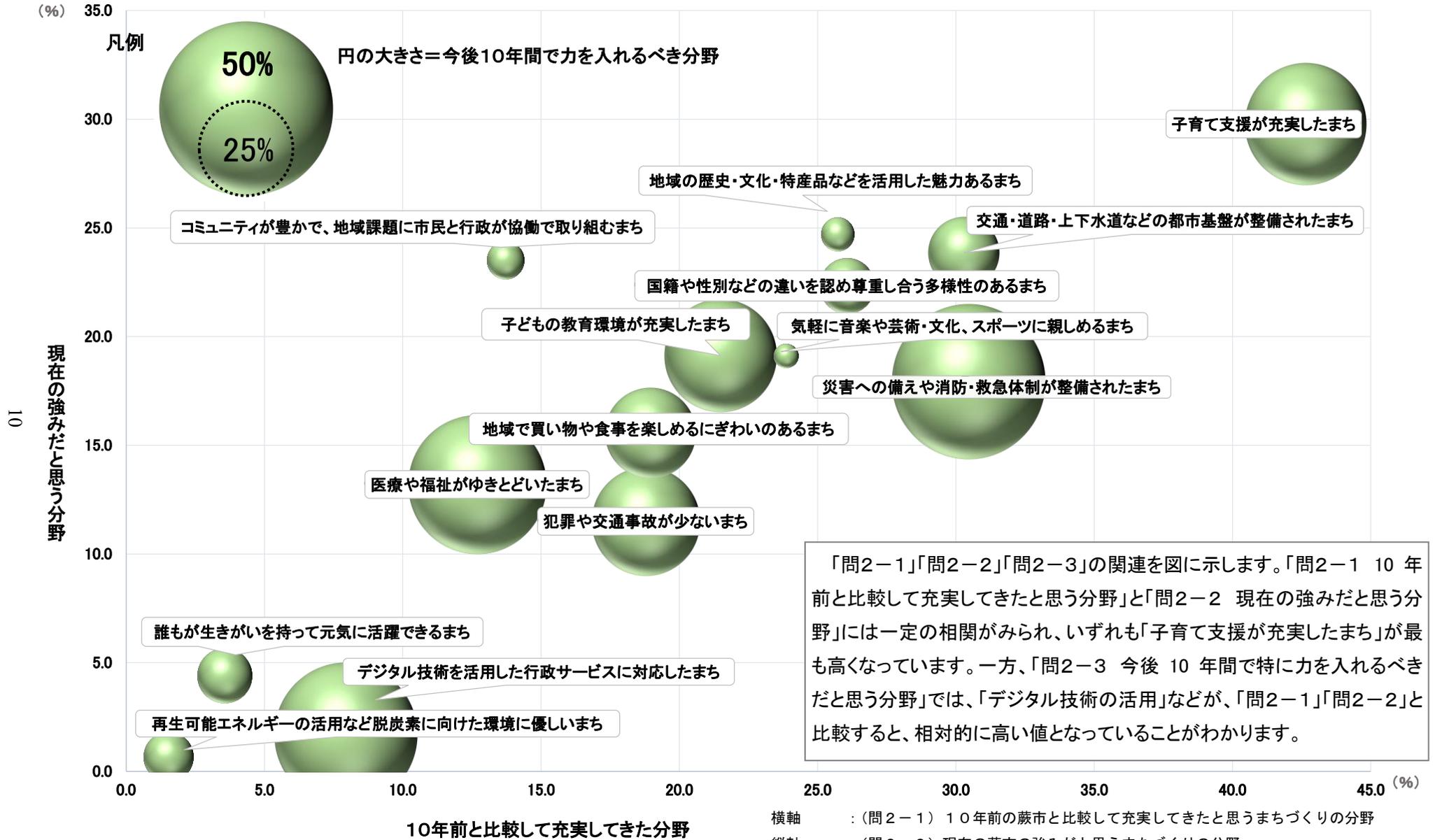
あなたが、今後10年間で蕨市が特に力を入れるべきだと思うまちづくりの分野を下の1から15の中から5つ以内で選んでください。

回答対象者(n=591)【5つまでの複数回答】	集計値(件)	割合(%)	順位
災害への備えや消防・救急体制が整備されたまち	271	45.9	1
デジタル技術を活用した行政サービスに対応したまち	252	42.6	2
医療や福祉がゆきとどいたまち	243	41.1	3
子育て支援が充実したまち	214	36.2	4
子どもの教育環境が充実したまち	198	33.5	5
犯罪や交通事故が少ないまち	190	32.1	6
地域で買い物や食事を楽しめるにぎわいのあるまち	159	26.9	7
交通・道路・上下水道などの都市基盤が整備されたまち	125	21.2	8
国籍や性別などの違いを認め尊重し合う多様性のあるまち	97	16.4	9
誰もが生きがいを持って元気に活躍できるまち	96	16.2	10
再生可能エネルギーの活用など脱炭素に向けた環境に優しいまち	87	14.7	11
コミュニティが豊かで、地域課題に市民と行政が協働で取り組むまち	66	11.2	12
地域の歴史・文化・特産品などを活用した魅力あるまち	59	10.0	13
気軽に音楽や芸術・文化、スポーツに親しめるまち	43	7.3	14
その他	13	2.2	-
無回答	12	2.0	-



「災害への備えや消防・救急体制が整備されたまち」(45.9%)、「デジタル技術を活用した行政サービスに対応したまち」(42.6%)、「医療や福祉がゆきとどいたまち」(41.1%)が4割を超えています。

●相関関係図



(問 2 - 4)

問 2 - 2 で記入いただいた「現在の蕨市の強みだと思うまちづくりの分野」それぞれについて、特に蕨市が優れていると思うところを、具体的にお書きください。(分かる範囲で実績や数値もご記入ください)

## 【まちづくりの各分野における主な意見】

### ■ 1. 災害への備えや消防・救急体制が整備されたまち

---

- ・ 狭小・平坦な特性により、消防・救急出動が迅速である。
- ・ 小さなまちだけに、全域をカバーできるのが強み。東は塚越分署、西は本署(錦町5丁目)と両翼で市民を見守ることができる。また、全国平均に比べ、救急車到着時間が短い。
- ・ コミュニティを生かした災害への備えが行えている(総合防災演習の実施、避難所運営協議会の設置など)。
- ・ 公共施設の耐震化が進んでいる。
- ・ 防災拠点や避難所などへの水道管の耐震化率が他市と比べて高い。指定避難所となる小・中学校へ応急給水タンクを配備するなど災害時にも水を供給できるよう体制を整備している。
- ・ 全自主防災会へスタンドパイプを配備し、訓練を進めている。塚越分署の建て替えや、救急車の寄付があり、行政・市民が一体となっている。
- ・ コンビニなど 24 時間利用可能な施設にAEDが設置されている。

### ■ 2. 犯罪や交通事故が少ないまち

---

- ・ 交通事故発生件数(人身事故)が減少傾向にあり、死亡事故ゼロも続いている。
- ・ 駅前の放置自転車の減少に伴う犯罪発生件数の低下。
- ・ 通学路の見守りが充実している。町会の防犯パトロールなどの活動が活発で犯罪への抑止となっている。
- ・ 街なか防犯カメラ(市内 140 台)の整備・運用、警察等と連携した防犯教育の充実。

### ■ 3. 子育て支援が充実したまち

---

- ・ 子育て世帯にとっては、リフォーム助成や3世代ふれあい家族住宅の補助などが助かる。
- ・ 児童館や福祉・児童センターで行われている多数の親子向け企画には周辺自治体に在住している方も参加している程人気がある。
- ・ こども医療費の無料化をいち早く中学卒業まで実施し、更に令和4年 10 月から入院について 18 歳まで拡大している。
- ・ 市の面積 5.11K m<sup>2</sup>の中に認可保育園 15 園、小学校7校があり、保育園、小学校が身近にある。
- ・ 公民館は 7 館、児童館は 5 館、地域子育て支援センターは 4 施設あり、どこへでも行きやすい。
- ・ 単位面積当たりの児童・教育施設が多い。
- ・ 学童保育の長期休み(夏休みなど)の開設時間が朝 8 時からとなっており、他市町村は 8 時半からのところもあるので優れていると思う。

- ・ 「保育予約制」や「保育料独自軽減」は近隣では蕨市のみとなっており、保育園や学童保育の保育料が近隣と比べて安い。
- ・ 蕨市民公園の遊具が新しくなり、多くの人が集まっている。
- ・ 民間活力を導入した保育園・学童保育室の整備が進んでおり、この間、待機児童数の減少など、目に見える成果が得られている。
- ・ 「不妊検査費助成事業」、「不育症検査費助成事業」、「早期不妊治療費助成事業」の充実。
- ・ 放課後子ども教室や預かり保育など、働いている家庭の子どもたちの居場所をちゃんとつくりけている。

#### ■4. 子どもの教育環境が充実したまち

---

- ・ 市独自に35人程度学級を実施している。各学校にALT1名を配置するとともにGTECを実施するなど外国語教育の向上を図っている。
- ・ 小・中学校が耐震化されていて安心できる。
- ・ 狭い市の中に、7小学校、3中学校もあり、通学距離が短くてよい。
- ・ 小・中学校にエアコンが完備されている。児童・生徒1人1台にパソコンが支給され、オンライン授業を全校で実施可能となっている。
- ・ 全小学校区でわらび学校土曜塾が実施されている。
- ・ 市民団体と連携し、学習支援を行っている。また、外国から日本へきた児童・生徒に対し、日本語特別支援教室を設置している。
- ・ 埼玉県の実力学習状況調査において、例年、良好な結果を収めている。
- ・ 放課後の子どもたちに対して、放課後子ども教室のように、学校に留まって過ごす場所があり、親が働いている家庭にはよいと感ずる。

#### ■5. 誰もが生きがいを持って元気に活躍できるまち

---

- ・ 各公民館で50近くの市民団体の活動が行われているなど、サークル活動が盛んであり、毎年生涯学習フェスティバル等のイベントも開催されている。
- ・ 広報でさまざまな団体や催しが紹介され、年配の方でも趣味やボランティアなどに参加しやすい。広報に活躍が紹介されることや、市立病院のギャラリー展など、成果を見える形にする場が生きがいをつくっている。

#### ■6. 医療や福祉がゆきとどいたまち

---

- ・ 紙おむつの支給サービスなど高齢者福祉サービスが他市に比べて優れている。
- ・ 市内3か所目となる地域包括支援センターが整備され、市内をしっかりとカバーできている。
- ・ 市立病院は通常診療を行いつつ、コロナ対応を行っており、また、市内において分娩ができる医療機関としても重要な役割を担っている。
- ・ 市立病院をはじめ、市内には40以上の医療機関、30以上の歯科医院がある。

- ・ 感染対策としてワクチン接種を多くの人が早く接種できるよう準備し、推進している。保育園児などに抗原定性検査キットを配布している。

#### ■7. 地域で買い物や食事を楽しめるにぎわいのあるまち

---

- ・ 飲食店や生活必需品が購入できるお店が市内にあり、入手しやすいので生活のしやすさにつながる。価格も安い良心的な店が多い。
- ・ 駅前通りや公園などを利用した市内商店が主催したイベントが開催されている。
- ・ 地域に根付いたお店も多く、交流の場の一つになっている。
- ・ 全市民への「織りなすカード」等の配布、PayPayポイント還元キャンペーンが実施されている。
- ・ 駅前には複数の飲食店があり、にぎわいがある。商業施設もあり、スーパーも充実している。
- ・ 大手スーパーのみならず、個人商店も新規開店しており、まだ部分的ではあるが、活性化しつつあると思う。
- ・ チェーンではない飲食店も市内に充実している。
- ・ 自転車、徒歩で立ち寄る範囲に商店街が残る。

#### ■8. 地域の歴史・文化・特産品などを活用した魅力あるまち

---

- ・ 宿場町としての歴史（歴史ある街）。近隣の市もこの点において蕨市に敵わない（またそこが直接 or 間接的に派生した有形無形の文化である）。
- ・ 蕨ブランド認定品やわらびりんご、アニメ聖地といった他市にはない特徴がある点。
- ・ 歴史民俗資料館など、蕨の歴史が分かる施設があり、わらびりんごサイダーや双子織など特産品がふるさと納税の返礼品として活用されている。
- ・ 旧中山道沿いの風情ある店舗を大切に守っていく姿勢。
- ・ 蕨ブランド認定制度を設け、地域産業の振興と市のPRにつなげている。
- ・ 機まつり、宿場まつりなど伝統あるイベントが続いているところや、コンパクトな市である中で、わらびりんごなどの特産品を活用したドリンクやシャーベットの開発をしているところ。
- ・ 商店街の店の暖簾に双子織が使われているなど特産品が身近に感じられる工夫がある。また、保育園にてわらびりんごを収穫するなど子どもたちにとっても特産品が身近で親しみが持てる。
- ・ 成人式発祥の地としての文化が継承されている。
- ・ 70回を迎えたわらび機まつりは、長い歴史を誇っている。
- ・ 河鍋暁斎記念美術館など、歴史愛好家の推しになる人や場所をさまざまなツールで紹介している。老若男女の知っている有名人が蕨を全国に広めている。漢字の蕨を生かしたことも興味深い。
- ・ 駅西口の商店街通り、旧中山道など、歴史を感じる風景が残っている。

## ■9. 気軽に音楽や芸術・文化、スポーツに親しめるまち

---

- ・ 市民音楽祭や市民体育祭などのイベントや小・中学校への音楽家派遣事業などあらゆる世代に向けた事業を実施しており、YouTube視聴者も含めるとそれらに参加している市民も多い。
- ・ 音楽によるまちづくりが根付き、子どもからお年寄りまで地域で気軽に上質な音楽に親しむことができるとともに、音楽家を育てていく環境が整っている。
- ・ 公民館にさまざまな芸術分野で活躍する人を招き、コンサートを開いている。サッカーアニメ(さよなら私のクラマー)の宣伝など力を入れているように感じる。
- ・ 発表の場となるホールが複数ヶ所あり地元の音楽家などを中心としたイベントがある。
- ・ 市民会館や文化ホールくるる、各公民館等の各種イベントが充実しており、情報さえあれば気軽に音楽・芸術、スポーツに親しめる。
- ・ 昭和歌謡紅白歌合戦など、一般市民が主役となるイベントを積極的に実施している。
- ・ 「わら音」など、コンパクトな市の特性や人材を活用した蕨ならではの取組が推進されている。
- ・ 蕨市民音楽祭や蕨市水泳大会など、市民が年齢を気にすることなく、イベントに気軽に参加できる。

## ■10. 再生可能エネルギーの活用など脱炭素に向けた環境に優しいまち

---

- ・ 地球温暖化対策設備等設置費補助制度が市民に活用されている。
- ・ 市民団体の蕨市公衆衛生推進協議会と協力し、ゴミゼロ運動の実施や環境フォーラムの共催など市民と行政が地球課題に取り組んでいる。

## ■11. 交通・道路・上下水道などの都市基盤が整備されたまち

---

- ・ 錦町を中心とした区画整理では、車両等で通行する際にガタついた道路がとても少ないと感じる。
- ・ 駅前の再開発事業が進んでおり、未来を見据えたまちづくりが進んでいると感じる。
- ・ 市内のどこからでも鉄道へのアクセスが便利であり、他に類似する自治体は少ないのではないか。
- ・ 錦町地区の区画整理が進み、活気を感じる。上下水道の整備（特に錦町）が進んだことを実感する。
- ・ 全国的にも上位に位置する上下水道の普及率。
- ・ 上水道・基幹管理整備率が全国の平均に対し突出して高い。
- ・ 市道の舗装率が埼玉県内の平均より高くなっている。
- ・ 歩道が広い道が多く、また、きれいに舗装されているため、ベビーカーを押したり、子どもと手を繋いで歩きやすい。
- ・ コミュニティバスの増便。ルートの見直しなど地域に根ざした交通網の改善をしている点。国道17号線や外環道といった大路線が近くを通っている点。
- ・ 特に水道については、基幹管路の耐震化に早くから取り組み、また、地下水を活用するなど安全で安定した供給に努めている。

## ■ 12. コミュニティが豊かで、地域課題に市民と行政が協働で取り組むまち

---

- ・ 長く蕨市に居住している人が多く、地域住民のつながりが強い。
- ・ 全ての公民館が文部科学大臣から優良公民館として表彰されている。
- ・ 狭い市域に7つの公民館があり、併設された5つのコミュニティ・センターでは、コミュニティ委員を通して、市民と行政が協働で地域づくりに取り組んでいる。
- ・ コミュニティ委員会など活発に活動する地域組織が根付いている。市民で活躍されている方が多く、その方と行政の距離が近い。何よりも市民の方に温かく優しい方が多いことが誇り。
- ・ 市長タウンミーティング等を開くことによって、行政と市民との距離が非常に近く感じる。
- ・ 町会活動や公民館を中心とした生涯学習活動のほか、市民音楽祭など市民が実行委員会を組織して開催するイベントも多い。
- ・ 「みんなで創るわらび推進条例」を施行し、さまざまな協働事業が行われている。各コミュニティで催しが開催されるなど地域のつながりがあると感じる。

## ■ 13. 国籍や性別などの違いを認め尊重し合う多様性のあるまち

---

- ・ 市立病院では患者の国籍に応じてさまざまな言語で対応している(通訳、ポケットーク使用等)。
- ・ 塚越地域では、外国籍の人々が多く居住し、それぞれのコミュニティを形成している。イベント等では交流を深めている。
- ・ 川口市と並び外国人が多い。デメリットも大きいですが、それをアピールし、外国人が出店する屋台を支援して街を盛り上げることもできそう。
- ・ 学校において外国籍の児童が増加しているが、日本語指導などさまざまな面で配慮している。
- ・ 性別の違いにとらわれない中学校の制服を導入している。
- ・ 保育園に通うお子さんの国籍も多様化しており、子ども、保護者、保育者、それぞれが言葉、文化を尊重している。
- ・ 外国人の市民も増えているなか、活発なコミュニティにより多様性が理解される環境が整っている。
- ・ 日本語ボランティア養成講座に代表するように、特に外国人に対しての多様性を重視している。

## ■ 14. デジタル技術を活用した行政サービスに対応したまち

---

- ・ 証明書の発行手数料や市税等の納付におけるキャッシュレス決済が導入されている。

### (3) 【将来に向けた施策の提案について】

問3. 今後の蕨市のまちづくりで取り組むべき施策のアイデアについておたずねします。下記に記載の7つのテーマについて、特に実施する必要がある施策など具体的な提案があれば、お書きください。

#### 【7つのテーマ別の主な意見】

##### ■テーマ1 安全で安心して暮らせるまち

(項目:①防災、②防犯、③交通安全、④消費生活、⑤消防・救急)

###### (防災意識の醸成など)

- ・ 学校のイベントに防災関係の講義を増やし、幼い時期から意識を高める。また、駅前や商業施設など、若者が集まりやすい場所で飛び込み参加可能な講習を実施する。
- ・ 防災に関わる部署へのジョブローテーションを行うことで、防災意識の高い職員が増加するのではないかと。また、防災に関わる研修等に職員を積極的に派遣してはどうか。

###### (犯罪発生率の減少、防犯体制の強化など)

- ・ 犯罪率を低下させるには、割れ窓理論を応用させる必要がある。少しのゴミでも放置せず、環境美化に努める。路上のゴミを減らすことができれば、ゴミを捨てない意識につながり、ひいては市全体の犯罪率の低下につながり、誰もが安心して暮らせる街になると考える。
- ・ 市内で何かが起きた時に、学校の情報のように保育園にも情報が入り、保護者へも知らせる体制の整備。ITC化の導入や警察、市の担当課、周辺との情報の共有など連携を。

###### (交通事故の減少、交通ルールの周知・啓発など)

- ・ 自転車を運転する際のルール(交通法規)のガイドブックや市内の交差点などの危険箇所を掲載した「ヒヤリハット地図(松阪市)」を作成・配布することで安全が確保できると考える。
- ・ 自転車レーンの整備。看板等で大人に対してルールを守るように啓発。
- ・ 歩行者用道路の増設。見通しの悪い道路へのミラー、照明の設置。

##### ■テーマ2 豊かな個性を育み子どもたちの未来輝くまち

(項目:①子育て支援、②学校教育、③青少年の健全育成)

###### (子育てしやすい環境づくりなど)

- ・ 市内で子どもを産み、育てることができるような設備、分娩施設の充実、蕨で産んでよかったと思える環境づくりを進める。
- ・ 公民館や児童館において、乳幼児を連れた来館者が利用できる授乳室やオムツ交換台を備えた多目的トイレの整備を進めることで、子育てしやすいまちをPRしていけると考える。
- ・ ペアレントトレーニングを実施するサークル、講座があると気軽に通うことができ、支

援の必要不必要にかかわらず、より良い親子関係、保護者と子どもの支援につながりやすいのではないか。

- ・ 子ども会に参加すると親の負担が増えるから参加させない、との声もきかれるので、イベントにボランティアを広く募るなど、子ども会育成連合会と協働していく。

#### (子育て世代への情報発信、連絡手段など)

- ・ 公園付近など子ども連れでよく行く場所に相談先や一時預かりの情報を掲示する。SNSで公式アカウントを作成し、情報を発信するなど、今の子育て世代が目にしやすい方法でも情報を広げていく。
- ・ 保育園等では、連絡手段を電話ではなくメールやアプリなどを活用できるようにするなど、保護者の負担軽減を図る。
- ・ さいたま市が実施している「子育てコミュニティPLAZA」のようにITを活用して、子育てに関する情報発信や意見交換を設けることで子育て世代がよりサービスを利用したくなるを考える。

#### (学校・教育環境の充実など)

- ・ 第一中学校が企業と連携し、旧PCルームをDXルームとして、新たに活用を始めているが、第一中での実施内容を基に、他校においても同様の施設を設置し、旧PCルームの有効活用ができるとよいと思う。ラーニング commons 的なものでもよいと思う。
- ・ 幼保小の連携が大切といわれるなか、保育園側、学校側、それぞれが就学が近づいた時だけでなく、日頃から連携をとる機会があるとよいのではないか。

#### (子どもの遊び場の確保など)

- ・ 子どもたちの健康な身体や社会性を育むうえで、子どもたちどうして工夫しながら自由に遊ぶことは必要不可欠。信託地なども活用して、子どもが「優先的に」使用できるグラウンドや広場を整備する。
- ・ ボール遊び場をはじめ、スケボーやボルダリングなどのニュースポーツ、室内遊び場（ボールプール、ネットクライミング、アスレチック等）がどこでもできるようなまちづくりを進める。町中どこでも子どもたちの笑顔あふれる場となることが市全体の活性化を図る。
- ・ 新しい施設を整備するのは難しいと思うが、新しくなる図書館に子ども向けコーナーを充実させたり、子どもたちが遊べるスペースを作る。

### ■テーマ3 みんなにわたたく健康に生活できるまち

---

(項目：①地域福祉、②社会保障、③高齢者福祉、④障害者支援、⑤健康づくり、⑥医療)

#### (孤立・孤独を防ぐための居場所づくり)

- ・ 民間団体など市民主体で、誰でも気軽に集うことができ、なおかつそこに役割や社会的なつながりを見出すことができるとよい。地域の茶の間や子ども食堂などの事業展開、フードドライブなどを利用したSDGsの視点があるとなおよい。

### (認知症対策・フレイル予防、健康づくりなど)

- ・ 認知症等に伴う高齢者の徘徊対策として、高齢者が好む色やデザインを工夫したタグやキーホルダー等に番号や記号を入れてはどうか。番号や記号で管理された個人情報・連絡先・キーパーソンの情報・既往歴・内服薬・通院先等の情報を消防や福祉総務課等が管理し、徘徊で連絡先が分からないときに活用する(双子織デザインのタグ、双子織デザインのキーホルダー)。
- ・ 高齢者が健康に過ごすために課題となるのは、認知症である。認知症の対策として、社会的つながりが多い高齢者は、認知症のリスクが減少するというものがある。こうした中、他自治体の取り組みでeスポーツを利用したシルバーeスポーツというものがあり、このような企画をしてはどうか。
- ・ 高齢者のフレイル予防として、食事を愛の給食のような形で配達するほか、入浴券のような形で市内飲食店舗を利用すれば、外出による体力維持、精神疾患予防、しっかり食べることによる虚弱改善とともに商業活性化も期待できる。

### (医療提供体制の整備・充実など)

- ・ 市立病院は市内唯一の分娩施設でもあり、婦人科として地域における重要な役割を担っていることや、コロナ禍で発熱外来を自主的に設けるなど公立病院として民間医療機関が担うことが困難な役割を担っていることをアピールする。市立病院の必要性への理解を深めるとともにハード面のリニューアルに着手することが、特に今の若い世代にとって魅力的なまちづくりにつながると考える。

## ■テーマ4 にぎわいと活力、市民文化と歴史がとけあう元気なまち

---

(項目：①地域資源、②産業育成・支援、③勤労者支援、④生涯学習、⑤文化振興、⑥スポーツ・レクリエーション)

### (商店街の活性化、空き店舗の活用など)

- ・ 若い世代をターゲットにした店の立ち上げ、共働きの人が帰りに寄れるような店があるとよい。
- ・ 地域通貨のようなシステムを導入して経済活性化を図る手法も検討してみてはどうか。
- ・ 広報紙にリレー形式でお店を紹介していくコーナーを設ける。昔からのお店だけでなく最近できたところでも蕨市に思いがあって頑張っているところをもっと広めたらよい。
- ・ 市内にはさまざまな国籍の方が住んでいるため、その方々に使用していない店舗の提供を斡旋し、多くの多国籍料理が楽しめる商店街としてはどうか。

### (地域資源の活用など)

- ・ 地域の特性を生かすことで、他の市町村との差別化を図る。蕨市は歴史的に古いまちなので、イベントの実施で小・中学生のうちから蕨市の好感度を上げていく。成年式は毎年、ニュース番組で取り上げられており、同様のレベルまで向上すると市民の意識も上がると予想される。

- ・ 歴史ある街並みが残されている点を生かし、川越の小江戸通りのような、若者も楽しめる施設やお店を作り、人の記憶や思い出に残る街にすることで地域に移り住む、また定住する人も増えるのではないかと考える。

#### (生涯学習の推進、担い手の育成・発掘など)

- ・ 「学ぶ」だけではなく、今までの仕事や趣味のノウハウを生かせるような機会を作り、講師として活躍できる場を提供する。あわせて人材バンクをもっと市民に周知していく。
- ・ 子育て世代や高齢者向けの事業は継続しつつ、中学生から大学生などの若年層及び退職後の方向けの事業の充実を図る。なお、既存の事業をリニューアルするほか、年間事業数を縮小するなどして、その分で著名な講師を招き、集客を確保し、生涯学習を通じた地域活動の関心を高めて、地域づくりの人材を増加させ、円滑な世代交代を図り、コミュニティ豊かなまちの継続につなげる。

### ■テーマ5 快適で過ごしやすい環境にやさしいまち

(①市街地整備、②道路・交通、③上・下水道、④公園・緑地、⑤住宅、⑥環境保全、⑦廃棄物処理)

#### (都市基盤整備など)

- ・ 道路や上下水道など、ライフラインの老朽化は社会全体としての課題であり、大きな事故を事前に防ぎ、安全を確保することは社会基盤の安定につながることから、各種長寿命化計画については、随時見直しを行いながら、確実に修繕等を実施していく。
- ・ 近年の環境変化による集中豪雨や、線状降水帯による大雨に対応するため、公園などの市有地に調整池を設置することで、これまで以上に効率的な方法で雨水を地下に浸透できる。
- ・ 昭和の風情を「横丁」的な感じで残すことができれば、再開発地域とのギャップでタイムスリップした気分になり、観光客も呼び込めると期待する。
- ・ 公園を順次、計画的に全面リニューアルし、市民の方が利用したくなる公園づくりを進める。利用増加により、子どもの健全育成、体力向上、親子のふれあい、地域の交流の場ともなり、コミュニティの推進にもつながる。

#### (緑化の推進など)

- ・ 土地や公園での緑の管理にも限界があるので、市民が緑化に興味を持っていけるようなイベントや制度をつくることで、各家庭や地域ごとに緑化を進めていけるようにする。
- ・ 住宅が多い一方で公園や緑が少ない。植栽のない集合住宅や戸建てが続き、殺風景に感じる地域もある。事業者と連携し、地域に緑や潤いを増やす取組をもっと進めるとよいのではないかと。

#### (脱炭素に向けた取組など)

- ・ EV、PHVの導入補助の実施(市内保有率の向上、災害時のレジリエンス機能も強化)、公園やアスファルト舗装などの一部分の芝生化(グリーンインフラ機能の展開、グリーンコミュニティの形成)等の脱炭素施策の充実を通じて市のイメージアップを図る。

## ■テーマ6 一人ひとりの心でつなぐ笑顔あふれるまち

---

(項目：①地域コミュニティ・市民活動、②人権・平和、③国際交流・多文化共生、④男女共同参画)

- ・ 20代・30代が気軽に参加できる場の提供やイベントの開催、世代間の交流が進むような場の提供やイベントの開催により、新たなコミュニティが形成され、新たな人のつながりが広がり、蕨の住みよさにつながると考える。
- ・ 日本で初めて住む場所が蕨市という外国人も多いため、日本で暮らすことに支障がないように、基本的なことを教える(伝える)機会があるとよい。ベテラン外国人を巻き込んで問題を解決できるような仕組みがあればよいと考える。

## ■テーマ7 「コンパクトシティ蕨」将来ビジョン推進のために

---

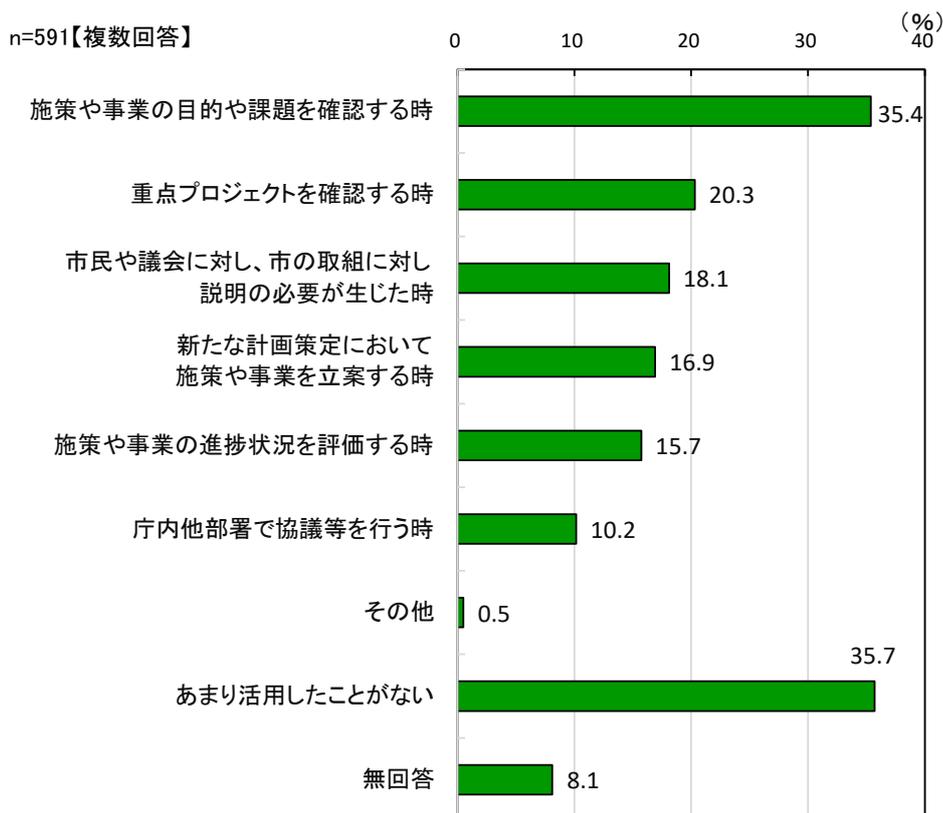
(項目：①市民参画・協働、②職員・組織体制、③行財政運営)

- ・ 市民に対し、より良いサービスを提供するためには、一つでも多くの目が必要であり、積極的に職員の採用を行うことがよいと考える。
- ・ オンライン化を進め市民が来庁しなくて済むことで、市民は非常に便利になり、窓口業務が減ることで職員の負担軽減にもつながる。業務の削減により、対面が必要なオンライン化が難しい業務に力を注ぐなど、業務全体の効率化にもつながると考える。
- ・ 基金の活用はもとより、クラウドファンディング、ふるさと納税、命名権などの手法で資金を集めるとともに、施設整備についてのアイデアを広く募集するなど、老朽化対策として修繕計画を進めるだけでなく、建替えや複合化などを見直してはどうか。
- ・ 市のSNS(Twitter)で地域の情報(例えば「南町桜並木の桜が満開になりました」など)も発信すると、身近に感じられるかもしれない。また、自治体の準公式HPを運用することで、行政情報だけにとどまらず、地域情報も発信できる。

#### (4) 【新たな「将来ビジョン」の策定に向けて】

問4. あなたは、どのようなときに将来ビジョンを活用しますか。あてはまる番号をお選びください。(○印はいくつでも)

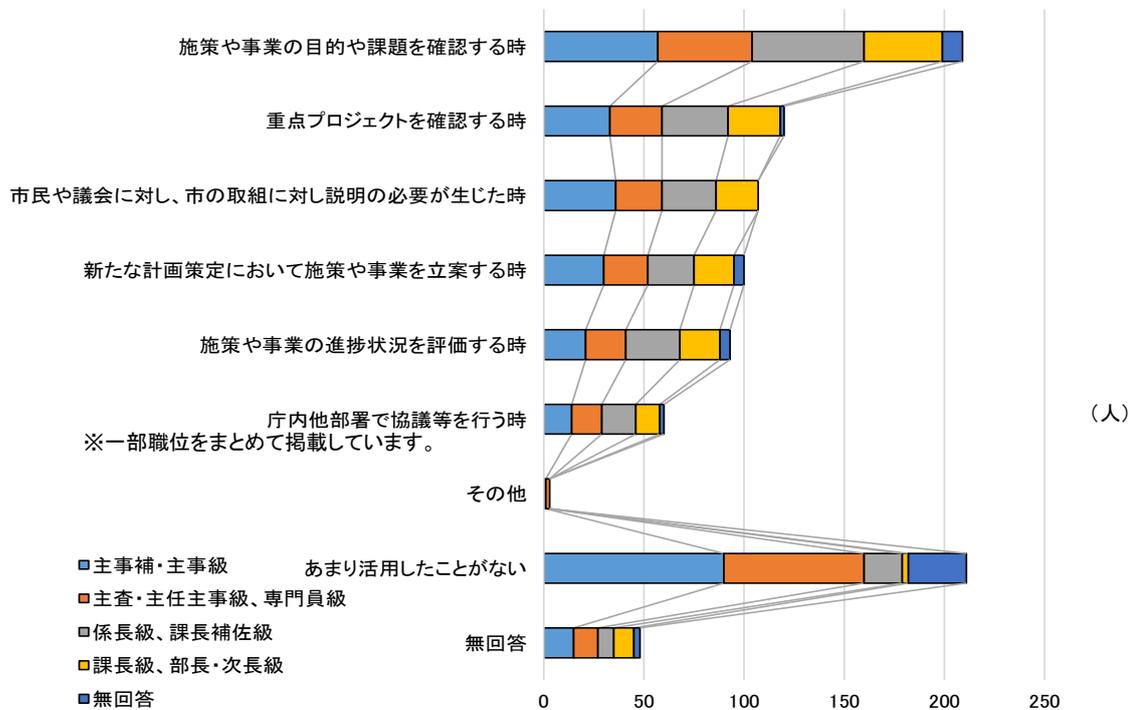
回答対象者(n=591)	集計値(件)	割合(%)	順位
施策や事業の目的や課題を確認する時	209	35.4	1
重点プロジェクトを確認する時	120	20.3	2
市民や議会に対し、市の取組に対し説明の必要が生じた時	107	18.1	3
新たな計画策定において施策や事業を立案する時	100	16.9	4
施策や事業の進捗状況进行评估する時	93	15.7	5
庁内他部署で協議等を行う時	60	10.2	6
その他	3	0.5	-
あまり活用したことがない	211	35.7	-
無回答	48	8.1	-



将来ビジョンを活用する時としては、「施策や事業の目的や課題を確認する時」が 35.4%と最も多くなっています。次いで、「重点プロジェクトを確認する時」(20.3%)、「市民や議会に対し、市の取組に対し説明の必要が生じた時」(18.1%)、「新たな計画策定において施策や事業を立案する時」(16.9%)と続いています。

●属性別（職位別）

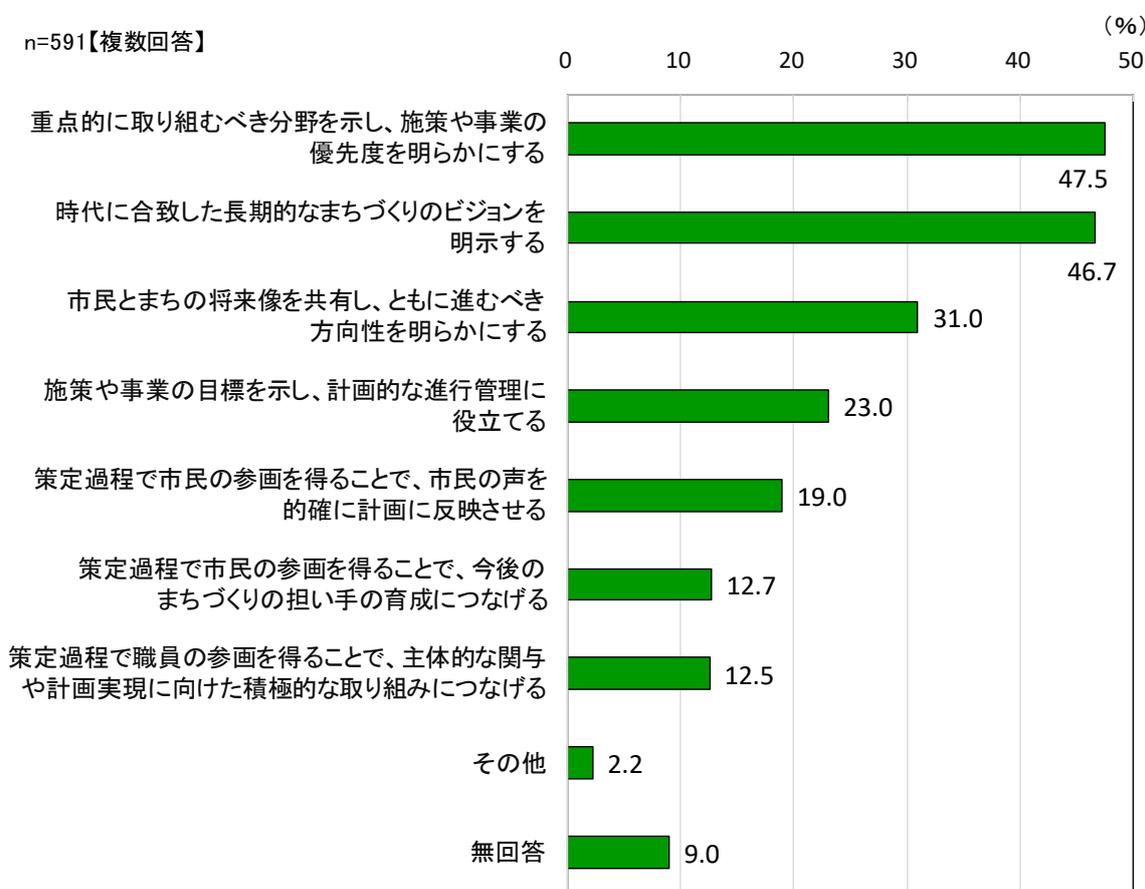
	回答対象者	施策や事業の目的や課題を確認する時	重点プロジェクトを確認する時	市民や議会に対し、市の取組に対し説明の必要が生じた時	新たな計画策定において施策や事業を立案する時	施策や事業の進捗状況进行评估する時	庁内他部署で協議等を行う時	その他	あまり活用したことがない	無回答
回答対象者	591 100.0	209 35.4	120 20.3	107 18.1	100 16.9	93 15.7	60 10.2	3 0.5	211 35.7	48 8.1
主事補・主事級	211 100.0	57 27.0	33 15.6	36 17.1	30 14.2	21 10.0	14 6.6	1 0.5	90 42.7	15 7.1
主査・主任主事級	125 100.0	34 27.2	19 15.2	18 14.4	15 12.0	14 11.2	14 11.2	2 1.6	57 45.6	7 5.6
専門員級	35 100.0	13 37.1	7 20.0	5 14.3	7 20.0	6 17.1	1 2.9	-	13 37.1	5 14.3
係長級	80 100.0	36 45.0	19 23.8	17 21.3	16 20.0	16 20.0	9 11.3	-	17 21.3	8 10.0
課長補佐級	31 100.0	20 64.5	14 45.2	10 32.3	7 22.6	11 35.5	8 25.8	-	2 6.5	-
課長級	34 100.0	20 58.8	14 41.2	12 35.3	12 35.3	12 35.3	8 23.5	-	1 2.9	8 23.5
部長・次長級	26 100.0	19 73.1	12 46.2	9 34.6	8 30.8	8 30.8	4 15.4	-	2 7.7	2 7.7
無回答	49 100.0	10 20.4	2 4.1	-	5 10.2	5 10.2	2 4.1	-	29 59.2	3 6.1



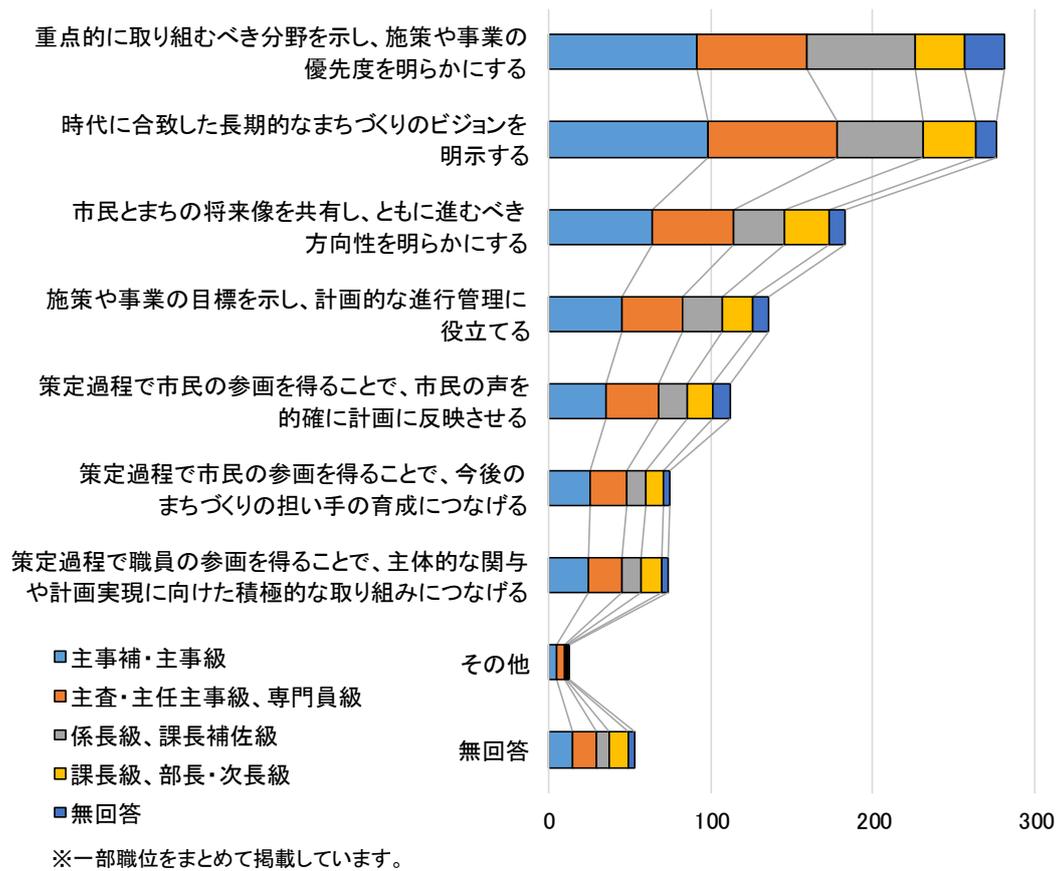
職位別にもても、概ね同様の傾向がみられますが、主事補、主事、主査等の職位で「あまり活用したことがない」が多くなっています。

問5. あなたは、新たな「将来ビジョン」の役割について、どのような点が重要だと思いますか。あてはまる番号をお選びください。(○印はいくつでも)

回答対象者 (n=591)	集計値(件)	割合(%)	順位
重点的に取り組むべき分野を示し、施策や事業の優先度を明らかにする	281	47.5	1
時代に合致した長期的なまちづくりのビジョンを明示する	276	46.7	2
市民とまちの将来像を共有し、ともに進むべき方向性を明らかにする	183	31.0	3
施策や事業の目標を示し、計画的な進行管理に役立てる	136	23.0	4
策定過程で市民の参画を得ることで、市民の声を的確に計画に反映させる	112	19.0	5
策定過程で市民の参画を得ることで、今後のまちづくりの担い手の育成につなげる	75	12.7	6
策定過程で職員の参画を得ることで、主体的な関与や計画実現に向けた積極的な取り組みにつなげる	74	12.5	7
その他	13	2.2	-
無回答	53	9.0	-







職位別にみても、概ね同様の傾向がみられます。

**新たな「将来ビジョン」策定に向けた職員意識調査報告書**

令和5年3月

蕨市 総務部 政策企画室

〒335-8501 埼玉県蕨市中央5丁目14番15号

TEL 048-433-7698